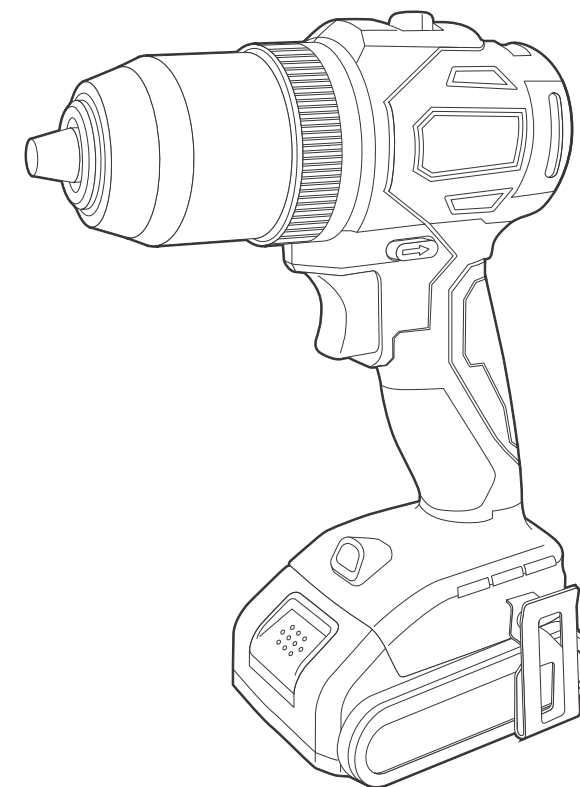


充電式ドリルドライバー

18V 本体のみ

DIY用

取扱説明書



目次

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ●安全にご使用いただくために…………… 1～2 | ●バッテリーについて…………… 8～9 |
| ●充電式ドリルドライバー使用上の注意…… 3 | ●保守と点検…………… 10 |
| ●各部の名称と付属品…………… 4 | ●トラブルの原因と対策…………… 10 |
| ●使用方法…………… 5～7 | ●サービス・保証…………… 11 |

※バッテリー・充電器は付属されていません。

お客様へ

本製品は家庭用です。
業務用にはお使いに
ならないでください。



警告

安全のため必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

本機の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

本機は充電式のドリルドライバーです。バッテリーを付けた状態で保管したり持ち運ぶと不意に動く可能性があり大変危険です。使用しないときは必ずバッテリーを外してください。

安全にご使用いただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、警告及び注意事項を厳守して安全に正しくご使用ください。又、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる場所へ、大切に保管しておいてください。

※ここに示した警告及び注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

以下は充電工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないことがあります。



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

1.作業をするときの服装について

- 充電工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護めがね等を必ず身につけてください。
屋外作業するときは滑り止めのついた履物をおすすめします。
- ・作業中、本工具（先端パーツ）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因になります。
- 作業中はだぶついた衣服や、ネクタイ等は着用しないでください。
- ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因になります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護めがね、防じんマスク等を着用してください。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいな場所で作業をするようにしてください。
- ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因になります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにしてください。
- ・暗い場所での作業はけがの原因になります。
- 充電工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。
可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。
- ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発のおそれがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場には作業員以外は近づけないでください。又、作業員以外の人には充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・作業場の近くに作業員以外の人がいったり、充電工具に触れたりしますと思わぬけがの原因になります。
- 充電工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないでください。
- ・感電のおそれがあり大変危険です。

3.取扱いについて

- 充電工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 不意な始動は避けてください。
- ・バッテリーを本機に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ・スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（先端パーツ）にひび割れ、きれつがないか、ねじが確実に締まっているか、工具（先端パーツ）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら販売店、又は製造元に修理を依頼してください。
- ・ねじがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていないと本機の破損、けがの原因になります。
- 本機をご使用するときや先端パーツを交換したときは、必ず試運転をしてからご使用ください。
- ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因になります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因になり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部には絶対に触れないでください。

- 本機の点検、掃除、工具（先端パーツ）の交換等のときは必ずバッテリーを本機から抜いてください。又、作業後は必ずバッテリーを抜いてから保管してください。
- ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因になります。
- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、バッテリーを抜き、点検、修理に出してください。
- ・異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- ・電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。又、電源プラグを抜くときに電源コードを引っ張らないでください。
- ・電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電するおそれがあります。
- 工具（スパナ、ねじ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- ・工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因になります。
- 本機は取扱いに不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- ・加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料が飛んだり振り回されて思わぬ事故の原因になります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- ・能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因になります。

4.バッテリー、充電器について

- 本機専用のバッテリー、充電器をご使用ください。違ったものを使用しますと作動および充電ができません。又、破裂、損傷のおそれがあります。
- 充電器は、ラベルに表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。表示を超える電源や直流電源、エンジン発電機では異常に発熱して火災のおそれがあります。
- 温度は、10℃～40℃の範囲で充電してください。範囲を超えますと十分な充電ができません。又、破裂、火災のおそれがあります。
- 充電は換気の良い場所で行ってください。又、充電中は充電器の空気穴をふさいだり、布などで覆わないでください。破裂、火災のおそれがあります。又、充電中は充電器のそばから離れないでください。
- 充電が終わりましたらバッテリーを抜き取り、電源プラグを抜いてください。放置しますと火災のおそれがあります。
- 雨の中、湿気の多い場所では充電しないでください。感電のおそれがあります。
- 連続使用又は連続充電で充電器及びバッテリーの温度が上昇しているときは、十分な間隔をあげ、温度が低くなってから充電してください。バッテリー、充電器の温度が上昇しているときは十分な充電ができません。
- 保管するときや、持ち運ぶときは、必ずバッテリーを外してください。

5.手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- ・使用後汚れたままで湿度の高い場所に放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用ください。
- ・切れ味が悪いと仕上がり面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- ・修理、点検は販売店、又は製造元にお申し付けください。
- 作業が終わりましたらバッテリーを外し、切りくず、ほこりを取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ない場所に保管してください。

充電式ドリルドライバー使用上の注意



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

- 作業箇所に電線管、水道管、ガス管等の埋設物がないか作業前に確かめてください。埋設物があると先端工具が触れ、重大な事故の原因になります。
- 使用中は、振り回されないように本機を確実に保持してください。不確実な保持は振り回されるなどケガの原因になります。
- 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 本機側面の風穴をふさがないでください。本機が高温となり、火災の原因となります。
- 回転中の先端工具に手や顔を近づけないでください。ケガの原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止してください。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や本製品などに破損や亀裂、変形が無いことをよく点検してください。

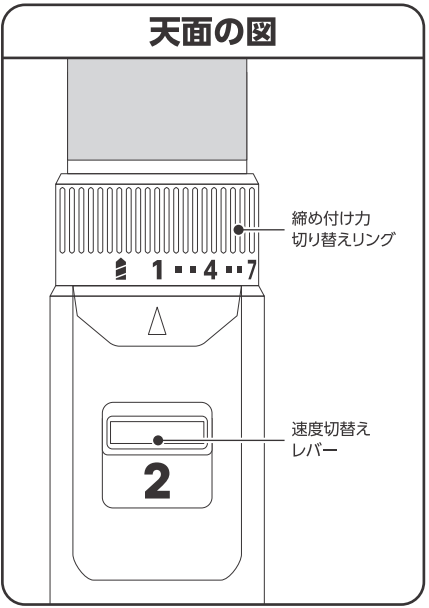
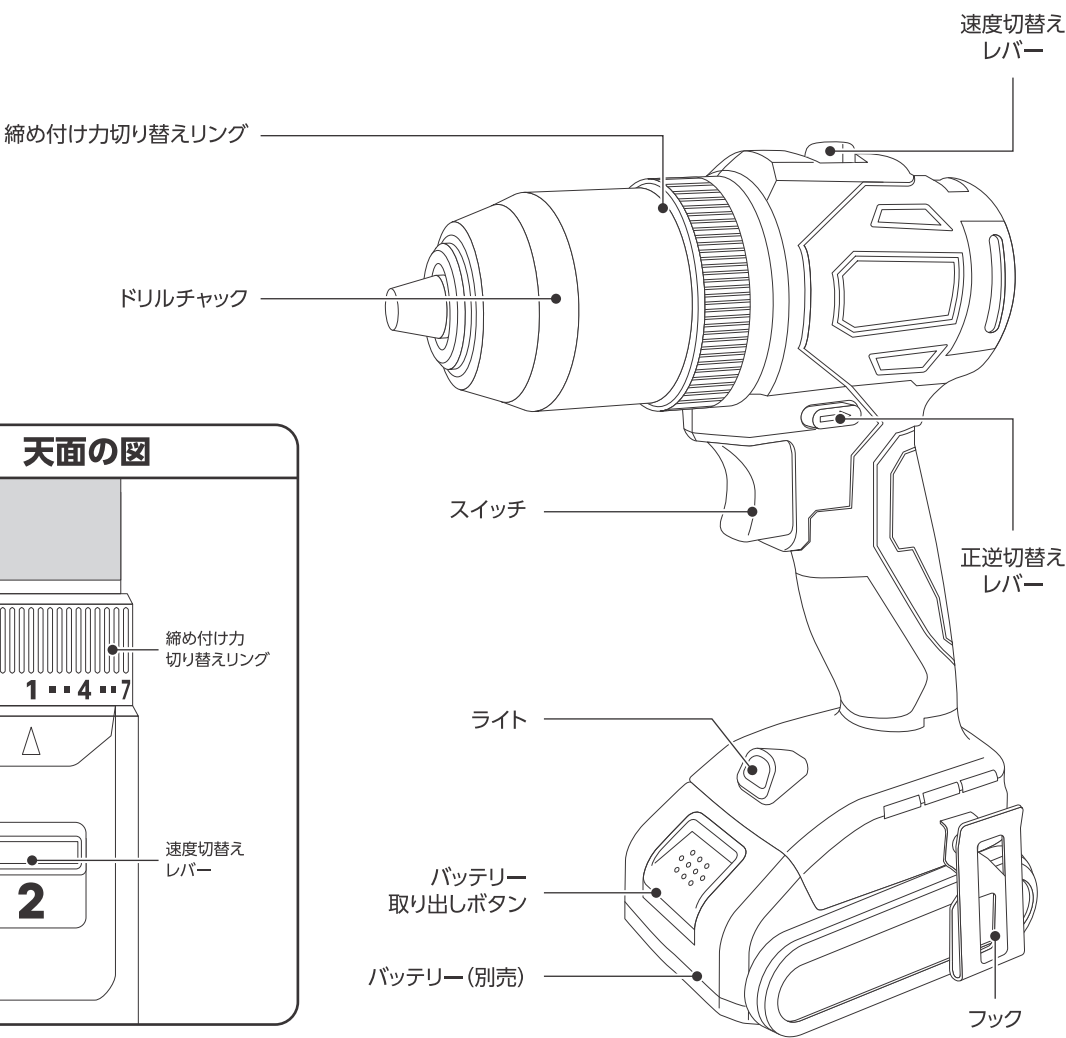


注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

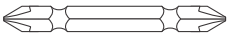
- 工具類（ビットなど）は取扱説明書に従って確実に取付けてください。作業中にはずれて思わぬケガの原因となります。
- 高い場所で作業するときは、下に人のいないことを確かめてください。材料や本機を落下させたときに事故の原因になります。
- 使用中は、巻き込まれるおそれのあるもの（ネクタイ、軍手など）は着用しないでください。回転部に巻き込まれて、ケガの原因になります。
- 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがの原因になります。
- 細径ドリルは折れやすいので注意してください。飛散して、けがのおそれがあります。

各部の名称と付属品



付属品の明細

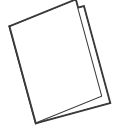
①両頭ビット(+2 65mm)×2



②フック×1



②取扱説明書
(本書)×1



仕様

入 力 電 圧	18V	本 体 サ イ ズ	220×165×75(mm)
最大締めトルク	40N・m	本 体 重 量	約1.28kg※
無 負 荷 回 転 数	低速/約0～400min ⁻¹ 高速/約0～1800min ⁻¹	ドリルチャックサイズ	1.5～13mm

※リチウムイオンバッテリー YBP-1815(別売)装着時
※改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

使用方法

警告

- 本機専用の充電器、バッテリーをご使用ください。違ったものを使用しますと充電ができません。また、破裂、損傷のおそれがあります。
- 充電器は、ラベルに表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。表示を超える電源や直流電源、エンジン発電機では異常に発熱して火災のおそれがあります。
- 温度は、10℃～40℃の範囲で充電してください。範囲を超えますと十分な充電ができません。また、破裂、火災のおそれがあります。
- 充電は換気の良い場所で行ってください。また、充電中は充電器の空気穴をふさいだり、布などで覆わないでください。破裂、火災のおそれがあります。
- 充電が終わりましたらバッテリーを抜き取り、電源プラグを抜いてください。放置しますと火災のおそれがあります。
- 雨の中、湿気の多い場所では充電しないでください。感電のおそれがあります。
- 連続使用又は連続充電で充電器及びバッテリーの温度が上昇しているときは、十分な間隔をあげ、温度が低くなってから充電してください。バッテリー、充電器の温度が上昇しているときは十分な充電ができません。
- 保管するときや、持ち運ぶときは、必ずバッテリーを外してください。

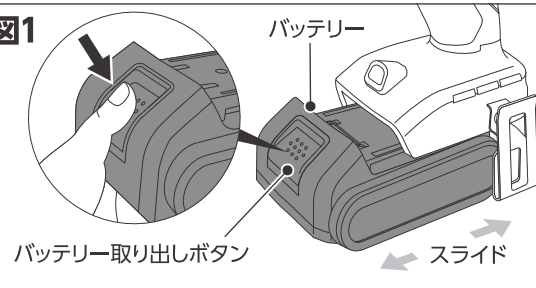
注意

- 本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを、必ず確認してください。
- スイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。不意な始動により、思わぬけがの原因になります。

1 バッテリーの取付け・取り外し方

- ①バッテリーを取付けるときは、本機とバッテリーの溝を合わせ、確実に奥まで差し込んでください。(図1)
 - ②バッテリーを本機から外すときは、バッテリー取り出しボタンを押しスライドさせると取り外せます。(図1)
- ※差し込み後は、確実にセットされていることを確認してからご使用ください。確実にセットされていないときは、使用中にバッテリーが落下して思わぬ事故の原因となります。

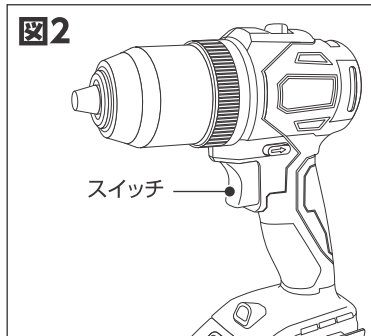
図1



2 スwitchの操作

- ①スイッチを引くと作動し、離すと停止します。(図2)
- ②スイッチの引き加減により回転数が調整できます。軽く引くと低速回転で、引くに従って回転が速くなります(図2)
- ③スイッチを離すとブレーキが作動して停止します。(図2)

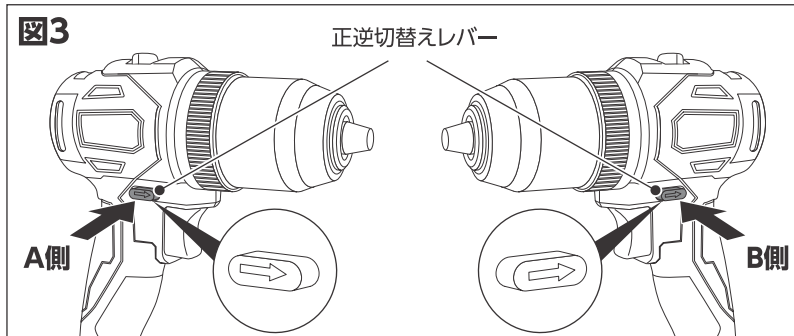
図2



3 正逆回転の切替え

- ①回転方向の切替えは、正逆切替えレバーを押します。(図3)
- ②A側のレバーを押すと右回転(正転)、B側のレバーを押すと左回転(逆転)します。(図3)

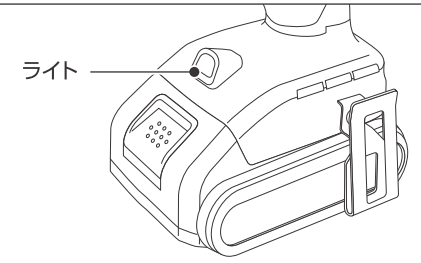
図3



4 LEDライトについて

- ①本機にはLEDライトがついています。(図4)
- ②スイッチを引くとライトが点灯して、工具の先端部を照らします。※LEDライトはスイッチを引くと自動的に点灯し、一定時間たつと自動的に消灯します。

図4



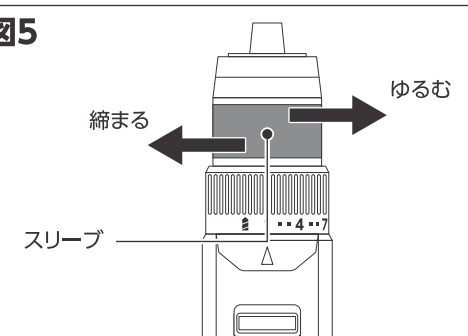
警告

- ライトを直接のぞき込んだり、目にライトを当てないでください。目を痛める原因となります。

5 ビット等の取付け・取り外し方

- ①ドリルチャックのスリーブ部を右に回すと開き左に回すと締まります。(図5)
- ②ドリルチャックを開いた状態でドリルやキリ等のビットをチャックに差し込み、スリーブ部を左に回してカチッと音がするまでしっかり締め付けてください。
- ③取り外す際は逆の手順で行ってください。

図5



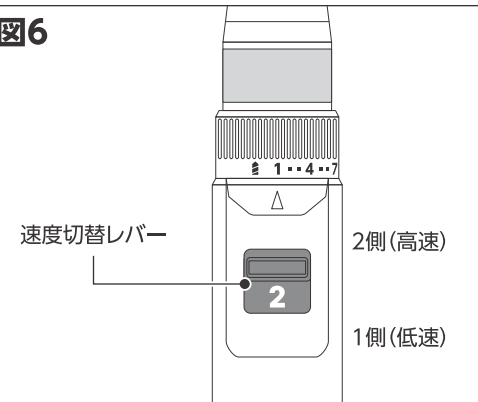
警告

- ビットやキリは取扱説明書に従って確実に取付けてください。外れたり、ケガの原因になります。
- 使用直後の工具類、材料、切りくず等は非常に熱くなっていますので、絶対にふれないでください。やけどの原因となります。

6 回転速度の切り替え

- ①速度切替レバーを1側にスライドさせると低速になり、2側にスライドさせると高速になります。(図6)
- ②速度切替レバーが正しい位置にセットされていることを確認し、作業にあった速度でご使用ください。

図6



表示されている数字	回転速度	締め付け力
1	遅い	強い
2	速い	弱い

警告

- 速度切替レバーは正しい位置にセットしてご使用ください。1側と2側の間で使用すると、故障の原因になります。
- 速度の切り替えはモーターが完全に停止した状態で行ってください。回転中に切り替えると故障の原因になります。

注意

- 正逆切替えレバーは中間ではスイッチがロックされて回転しません。最後まで押し込んでください。
- 正逆回転の切替えは、モーターの回転が完全に停止してから行ってください。回転中に切替えますと、故障の原因になります。

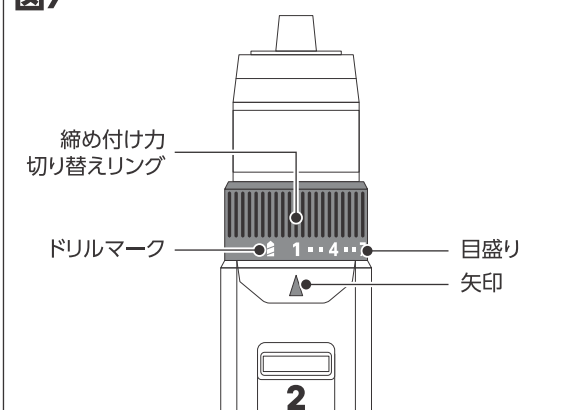
7 締め付け力切り替えリング

- 締め付け力切り替えリングを回転させて締め付ける強さを切り替えできます。(図7)
- 締め付け力切り替えリングは22段階切り替え可能です。矢印が指している目盛りの数字が大きいほどトルクが強くなります。(図7)

■ネジ締めをする場合

- ①締めるネジの頭の溝と最適なビットの先端を合わせて、スイッチを少しずつ引きながらビットがネジの頭から外れない程度の力で押し付けます。
- ②設定した締め付け力(トルク)に達し、クラッチが動作(空転)したらスイッチを戻します。
- ③木ネジを締め付けるときは、木ネジの径よりも少し細いキリで、下穴をあけておくくと材料が割れたりせず楽に締め付けできます。

図7



注意

- 締めるネジに対して本製品をまっすぐ保持してください。斜めだとネジの頭部を傷める原因になります。
- スイッチの引き加減や締め付け力の確認は事前に行ってください。
- 締め付け力の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。

■金属や木材に穴あけをする場合

- ①「締め付け力切り替えリング」を回転させて「ドリルマーク」を矢印に合わせます。
- ②ドリル(キリ)の先端を穴のあけたい位置に合わせてスイッチの引金を引きます。
- ③穴があいたらスイッチの引金を戻し、ドリル(キリ)を引き抜きます。

※ドリルの作業時には締め付け力の調整は必要ありません。

※金属の穴あけ時には、キリに油(マシン油など)をつけて作業をしてください。

※金属に穴をあける場合は、穴をあける位置にセンタポンチでくぼみをつくり、そのくぼみにキリをあてがうように作業します。



警告

- 穴が貫通する際は慎重に作業をしてください。大きな力がかかりケガをするおそれがあります。
- キリを逆回転させて抜くときは、本製品をしっかり保持してからスイッチを入れてください。

8 フックの取付け・取り外し方

- フックは作業の合間に一時的に本製品を腰ベルトなどに掛ける場合にお使いください。
- ①取付けるときは、本製品の溝にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちらにも取付け可能です。
- ②取り外すときは、ネジをゆるめてからフックを外します。



警告

- フックは腰ベルトなどへの吊りさげ以外の用途(高所での落下防止など)には使用しないでください。
- フックに過度な負荷がかかるとフックが破損し、作業者及び周囲または下にいる人がケガをするおそれがあります。

バッテリーについて



警告

- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。バッテリー液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 指定したバッテリー以外は充電しないでください。
- 約40分(YBP-1815の場合)で充電が完了しますので、充電完了後はバッテリーを抜き取り電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。充電完了後に差したまま放置しないでください。火災・発熱・破損・液漏れのおそれがあります。
- 高温・多湿・雨の当たる場所で充電しないでください。故障の原因となります。
- 充電中は充電器のそばから離れないでください。
- 本機を使用されないとときや保管されるときは、必ずバッテリーを外してください。
- バッテリーを使用されない場合は、満充電にして保管してください。長期間使用されない場合は、6ヶ月に1度は充電してください。長期間充電をせず放置された場合、自然放電によりバッテリーの故障や寿命短縮の原因となります。

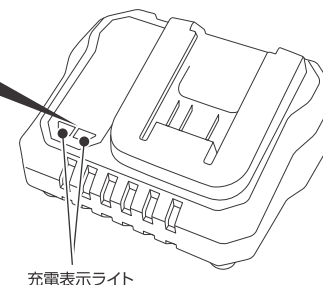
1 バッテリーの充電方法 ※必ず専用充電器[YCH-18V]をご使用ください。

バッテリーの電源ボタンを押してバッテリー残容量を確認できます。(図8)

- ①充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。充電器の表示ライトが〈赤〉消灯・〈緑〉点滅になります。
 - ②バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって確実に奥まで挿入してください。(図9)
 - ③バッテリーを挿入すると、充電器の表示ライトが〈赤〉・〈緑〉点灯し充電を開始します。
 - ④充電が完了すると、充電器の表示ライトが〈赤〉消灯・〈緑〉点灯になります。
 - ⑤バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。
 - ⑥「高温待機」:〈赤〉点滅・〈緑〉消灯の場合は、充電器のプラグを抜きバッテリーを冷ましてから再度充電してください。
- 「充電不可」:〈赤〉・〈緑〉2色点滅の場合は、バッテリーの故障もしくは寿命により充電できない状態です。

充電表示ライトの表示・内容

充電表示ライトの状態	充電表示ライトの内容
消灯 赤 緑 点滅	充電前
点灯 赤 緑 点灯	充電中
消灯 赤 緑 点灯	充電完了
点滅 赤 緑 消灯	高温待機
点滅 赤 緑 点滅	充電不可



ご不明な点は、お買い求められました販売店、または商品に関するお問い合わせ先までご相談ください。

図8

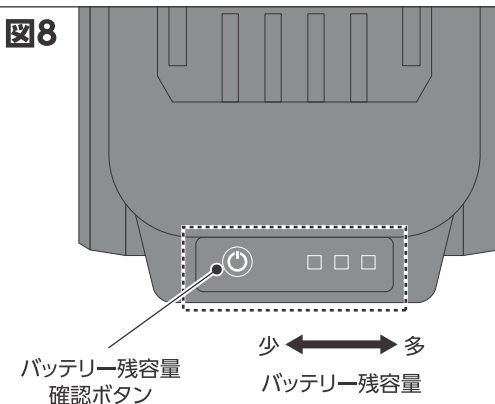


図9

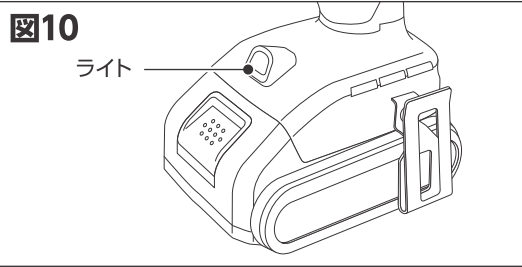


2 保護機能

適応機種でご利用中、下記状態になるとモーターが停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

状態	対応方法
●ご使用機器が過負荷状態になったとき。	スイッチレバーを一旦はなし、再度握りなおしてください。
●バッテリーの残容量が少なくなったとき。	専用充電器[YCH-18V]で充電してください。
●本機及びバッテリーの温度が高温になったとき。	本機及びバッテリーを冷ましてから再度ご利用ください。

保護機能がはたらくとライトが点滅します。(図10)



3 使用上の注意事項

- ご使用機器の力が弱くなってきたと感じたら、充電してください。
- 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲でおこなってください。
- バッテリーを使用されない場合は、満充電にして保管してください。長期間使用されない場合は、6ヶ月に1度は充電してください。長期間充電をせず放置された場合、自然放電によりバッテリーの故障や寿命短縮の原因となります。

4 バッテリーの回収について

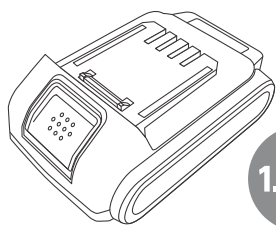
バッテリーは消耗品です。
使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。
お買上げの販売店へご持参ください。



Li-ion 20 使用後はリサイクルへ

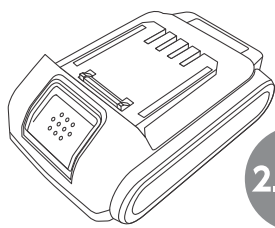
5 単品販売について

リチウムイオンバッテリーは消耗品です。充放電回数や保管方法により使用できなくなります。
バッテリーが使用できなくなったときは、必ず指定のバッテリーをご購入してご利用ください。



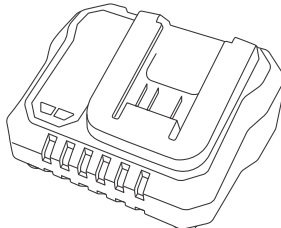
1.5Ah

リチウムイオンバッテリー
YBP-1815
(充電完了時間:約40分)
JAN:4550533108033



2.5Ah

リチウムイオンバッテリー
YBP-1825
(充電完了時間:約60分)
JAN:4550533108040



18V 充電器
YCH-18V
JAN:4550533108057

保守と点検



警告

●保守と点検をするときは、必ずバッテリーを外した状態でおこなってください。

- 各部のねじがゆるんでいないか、定期的に点検をしてください。ゆるみがある場合には締め直してください。
- 本体は、乾いた柔らかい布、石けん水を付けた布等で拭きとり、汚れを落としてください。
※シンナーなど石油類などでの清掃、また、水洗いは絶対しないでください。
- 保管は高温にならず、湿気の少ない、お子様の手のとどかない場所に保管してください。

トラブルの原因と対策

(本機は一般家庭での使用を目的にしていますので、
過酷な状況での連続使用は避けてください。)



警告

●原因の調査や対策を講じられる場合は必ずバッテリーを外してからおこなってください。

症状	原因	対策
動かない	バッテリーが抜けていませんか。	バッテリーを本機にしっかり差し込んでください。
	バッテリーの温度が高温になっていませんか。	本機よりバッテリーを取り外し、バッテリーを冷ましてください。
	バッテリー残容量が少なくなっていないですか。	本機よりバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。

表中に記載されていない故障など、ご不明な点は、お買い求められました販売店、または商品に関するお問合せ先までご相談ください。